

やさしいこころで

石垣市立宮良小学校一年 玉城 柚

「へいわってなんだろう。」

わたしは、へいわについてかんがえたけど、よくわからなかったので、おとうさんにきいてみました。するとおとうさんは「きょうだいみんなとなかよくすることじゃないかな。」といました。

おとうさんがいったこともあまりよくわからなかったけど、わたしは、きょうだいとなかよくすることにしました。

わたしは、よにんきょうだいのいちばんうえで、おとうとがふたりといもうとがひとりいるので、きょうだいのめんどろをよくみています。ときどきけんかもするけど、きょうだいとてもなかよしです。

わたしは、ようちえんせいするとき、せんせいやおともだちに「ゆずちゃんは、としたのめんどろをみるのがとてもじょうずだね。」といわれたことがあります。

わたしにとっては、あたりまえのことなだけけど、ふだんからおとうとやいもうとのめんどろをみてるから、ほかのひとにもやさしくできるのかなあとおもいました。

きょうだいにやさしくできるひとは、がっこうのおともだちにもやさしくできる。がっこうのおともだちにやさしくできるひとは、ちいきのひとにもやさしくできる。ちいきのひとにもやさしくできるひとは、ちきゅうにすむすべてのひとにやさしくできる。わたしは、そうかんがえました。

まずは、ちかくにいるきょうだいやかぞくにやさしくすることがへいわへのだいいつぼかなとおもいます。

にほんはごとし、げんごうがかわって「れいわ」になりました。わたしは、うまれたときからへいわなくらしをしてきたので、へいわがつづくといいなあとおもっています。これからもやさしいこころをたいせつにしていきたいです。